



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第608号
2023年9月18日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

性の多様性の尊重と制度の創設を求める

9月議会の一般質問が9月4日から6日までの間おこなわれ、14人の議員が質問に立ちました。今回、14人中6人が、「LGBTQ」「性の多様性」からパートナーシップ・ファミリーシップ制度の創設を求めるなど質問を行いました。

日本共産党は、代表質問で「LGBT理解増進法」（与野党で合意したものより後退したものが国会で成立）によって、八千代市が3月に発表した「性の多様性を認め合い行動するためのガイドライン」の内容や取り組みがマイナスになるようなことはないか？などの質問をしました。

市は「現在進めている事業計画通り今後も行う」との答弁があり、日本共産党は、この事業が全市的に推進されるよう引き続き奮闘してまいります。

当事者の方々の意見が反映されたガイドライン

八千代市のガイドラインは、担当している男女共同参画センターと「レインボー千葉の会」「にじいろコンパス」の方々の協力を得て作成されました。当事者の方々の意見や思いが反映されています。ぜひ、多くの方に読んでいただきたいと思います。



日本共産党は6月議会に続き、9月議会でもガイドラインの紹介をしながら、性の多様性、制度創設の質問を行いました。さらに八千代台の情報誌「ReATTA」（リアッタ）の9月1日号では、6月に行われたジェンダーの講演会の紹介、レインボー千葉の会の永井先生（カミングアウトした学校の先生）のお話や市長へ要望書を提出されたことが紹介されていました。

パートナーシップ制度等の導入を検討(服部市長)

制度創設については市長より「先進市の制度内容等を調査・研究し、パートナーシップ制度等の導入に向けて検討」との少し前向きな答弁がありました。

しかし、様々な市民団体から制度創設を求める声があることについて市長の見解を求めた質問では「広く多くの市民のみなさんの意見ということで、導入したいとの思い」があるとの答弁がされました。

いつ、制度創設するのかなど具体的な答弁を引き出すことはできませんでしたが、市長の思いを聞き出すことができました。

当事者だけでなく、多くの団体や個人の方々から「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」の創設を求める声が広がり高まっています。日本共産党は「誰にとっても暮らしやすい街」になるようにこれからも取り組んでいきます。